

平成29年度

こと はじめ

予算 事 始

さがみはらの予算をわかりやすく解説します



contents

- P2 予算の基礎知識
 - ・予算って何!?
 - ・予算ってどうやって決めるの!?
 - ・当初予算と補正予算って何!?
- P4 歳入(1年間の市の収入)
- P6 歳出(1年間の市の支出)
- P8 平成29年度の主な取り組み
- P10 相模原市財政状況
- P12 健全財政に向けた主な取り組み
- P13 宝くじ情報と寄附金制度のご案内
- P14 相模原家の家計簿

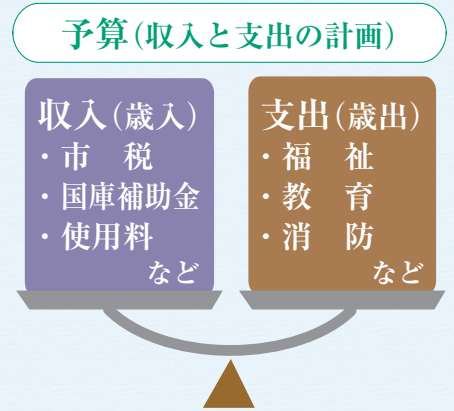
予算の 基礎知識

それではまずはじめに、
基本的な疑問にお答えしましょう。
予算とはどういうものなのでしょうか？

予算って何!?

まずはじめに「予算」についてです。

市役所では福祉、教育、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な仕事をしていますが、どんな仕事にお金を使うのかあらかじめ決めておく必要があります。そこで、1年間に市役所に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内でその使いみち（支出）を計画したものが「予算」になります。



予算ってどうやって決めるの!?

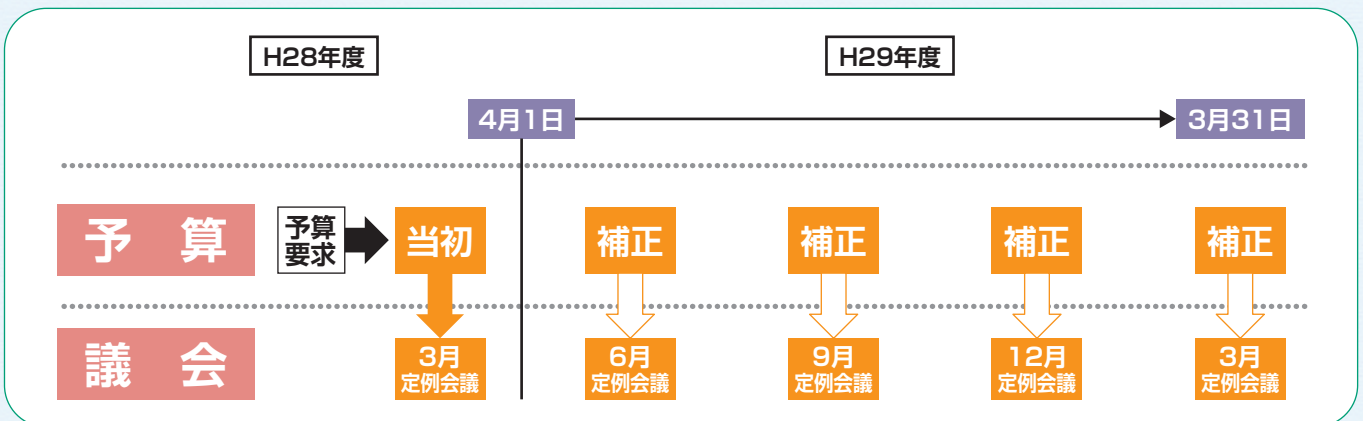
皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そして、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算の案を作成します。

できあがった予算案は、皆さんが選挙で選んだ市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。



当初予算と補正予算って何!?

4月1日から翌年の3月31日までの1年間に必要とされる予算は、「当初予算」として、年度が始まる直前の3月定例会議で決まります。しかし、年度の中で、状況の変化や新しい事態が発生した場合には、変化に対応するため「当初予算」に変更を加える必要があります。これが「補正予算」です。「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出され、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。



相模原市の予算はどのくらい？

市では、福祉、教育、道路・公園の整備などの行政サービスにかかるお金を「一般会計」として管理しています。

これに対して、特定の収入（国民健康保険税、介護保険料、下水道使用料など）があるものについては、お金の出し入れを分かりやすくするため、お財布を分けて管理しています。これらのお財布を「特別会計」または「公営企業会計」とよび、相模原市には、以下に示すように10の特別会計と1つの公営企業会計があります。

平成29年度 一般会計予算額 **2,893億円**



平成29年度 特別会計予算額 **1,979億円**

- 国民健康保険事業
 - 介護保険事業
 - 母子父子寡婦福祉資金貸付事業
 - 後期高齢者医療事業
 - 麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業
 - 自動車駐車場事業
 - 簡易水道事業
 - 公共用地先行取得事業
 - 財産区
 - 公債管理
- ※特別会計予算額は10の特別会計の合計額

平成29年度 公営企業会計予算額 **282億円**

- 下水道事業

※予算額は億円未満を四捨五入

平成29年度一般会計予算額と人口の比較(主な政令指定都市)

1. 大阪市(約270万人)	1兆7,627億円
2. 横浜市(約373万人)	1兆6,459億円
3. 名古屋市(約230万人)	1兆1,712億円
⋮	⋮
18. 岡山市(約72万人)	3,144億円
19. 静岡市(約70万人)	3,116億円
20. 相模原市(約72万人)	2,893億円

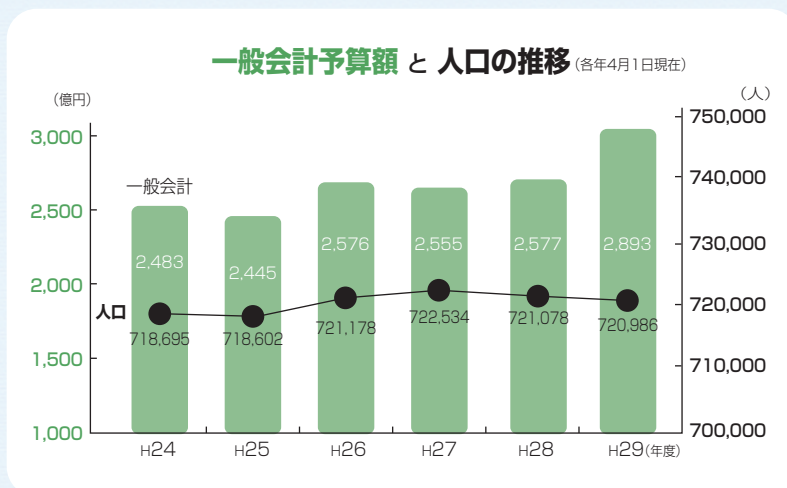
政令指定都市(20都市)の中では、最も小さい予算規模です。
 ※人口は万人未満、予算額は億円未満を四捨五入。
 ※人口は29年4月1日現在推計人口。

右のグラフは、過去5年間の一般会計予算額と人口の推移です。

一般会計の予算額は増加傾向にあります。

平成29年度予算額は、前年度と比べ316億円増加(12.3%増)となっています。

人口は、平成29年は前年度と比べ92人減少となっています。



歳入

1年間の市の収入

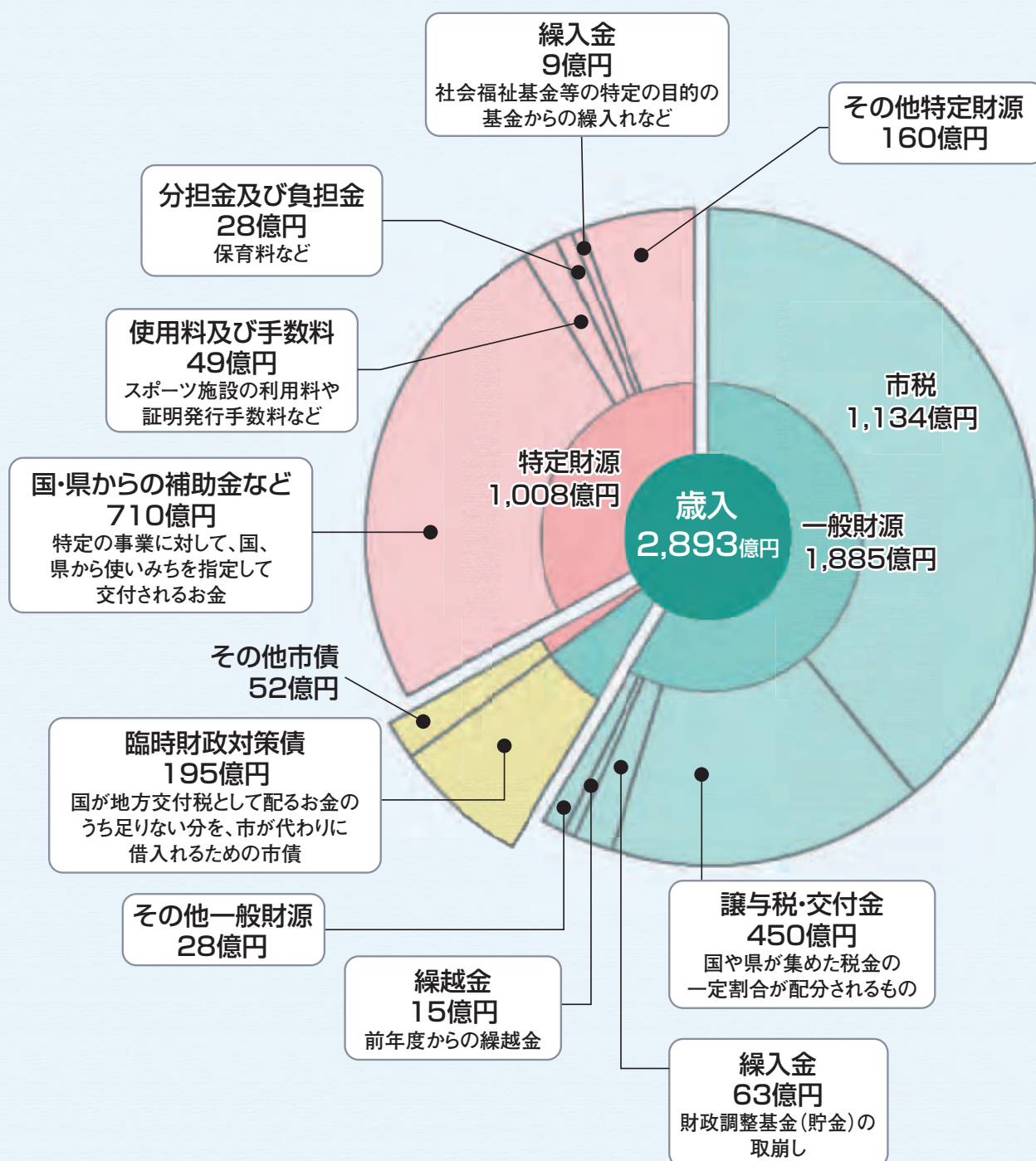
まずは、市の収入である歳入について説明します。

市の収入にはどんなものがあるの？

相模原市の収入（歳入）のうち、もっとも大きな割合を占めているのが『市税』です。

このほか、国や県から配られるお金や借入金（市債）など、さまざまなものがあります。

収入は、使いみちが自由な「一般財源」と、使いみちが決められている「特定財源」に分けられます。市がさまざまな市民ニーズに対応して事業を行っていくためには、一般財源の確保がとても重要になります。



市税の内訳

市税は収入全体の約39%となっています。
主な内訳は次のとおりです。

市民税…県民税と合わせて住民税といわれる税

個人市民税…個人の前年の所得にかかる税

法人市民税…市内に事業所等がある法人にかかる税

固定資産税…土地・家屋・償却資産（事業用の機械等）にかかる税

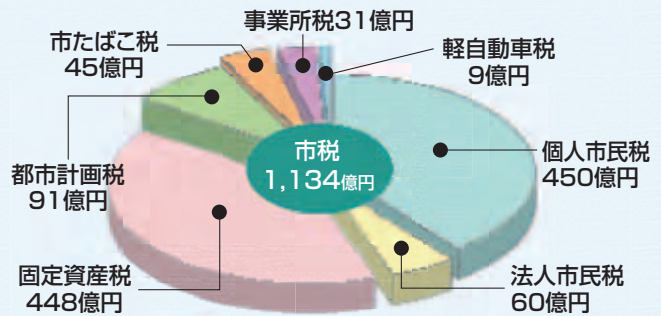
都市計画税…市街化区域内の土地・家屋にかかる税

市たばこ税…たばこ製造者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税

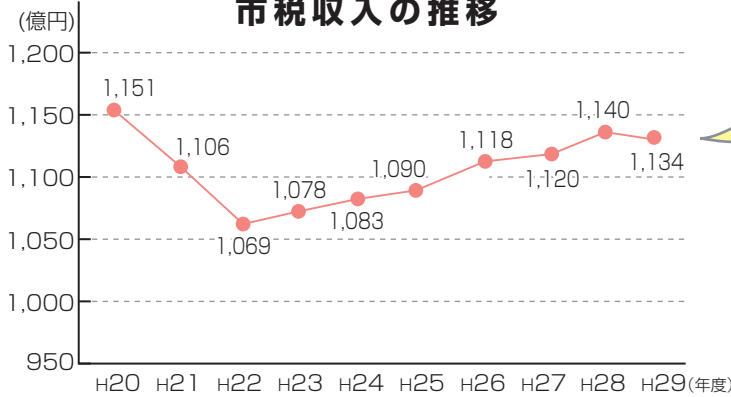
事業所税…事業所等における事業活動にかかる税

軽自動車税…原付・オートバイ・軽自動車などにかかる税

相模原市の市税収入の内訳は、「市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。他の政令指定都市と比べると、歳入のうち市税の占める割合が高く、市税の中では景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから、比較的変動の少ない歳入構造となっています。



市税収入の推移



市民一人あたりでは
約15万7千円です
平成28年度
約15万8千円



※平成20～27年度は決算額、28・29年度は当初予算額で示しています。※市民一人あたりは、各年4月1日現在の推計人口から算出しています。

相模原市の歳入でもっとも大きな割合を占める市税は、平成28年度に比べ6億円の減収見込みとなっています。主な税目では、個人市民税は給与所得の増加に伴う所得割額の増などにより約8億円の増収、法人市民税は昨年前半に進んだ円高の影響などによる企業収益の減少により約15億円の減収となる見込みです。

消費税率引上げの用途について

社会保障の充実・安定化のため、平成26年4月に消費税率が8%に引き上げられました。この消費税率の引上げによる地方消費税交付金の増収分として、平成29年度は48億円を見込んでいます。

この消費税率引上げによる増収分は、全て年金・医療・介護・少子化対策等の社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費の中で、「社会保障の充実・安定化」のために活用されます。

社会保障の充実・安定化に含まれる主な事業

医療：国民健康保険の低所得者保険料軽減・保険者支援制度の拡充など
 介護：介護保険第1号被保険者保険料の低所得者軽減強化など
 少子化：民間保育所等運営支援など
 その他：障害福祉サービス等費用、自立支援推進事業など

歳出

1年間の市の支出

歳出は、使いみちや目的によってさまざまな見方をすることができますが、ここでは『目的別』経費と『性質別』経費という2つの分類方法で説明します。

『目的別』経費とは…

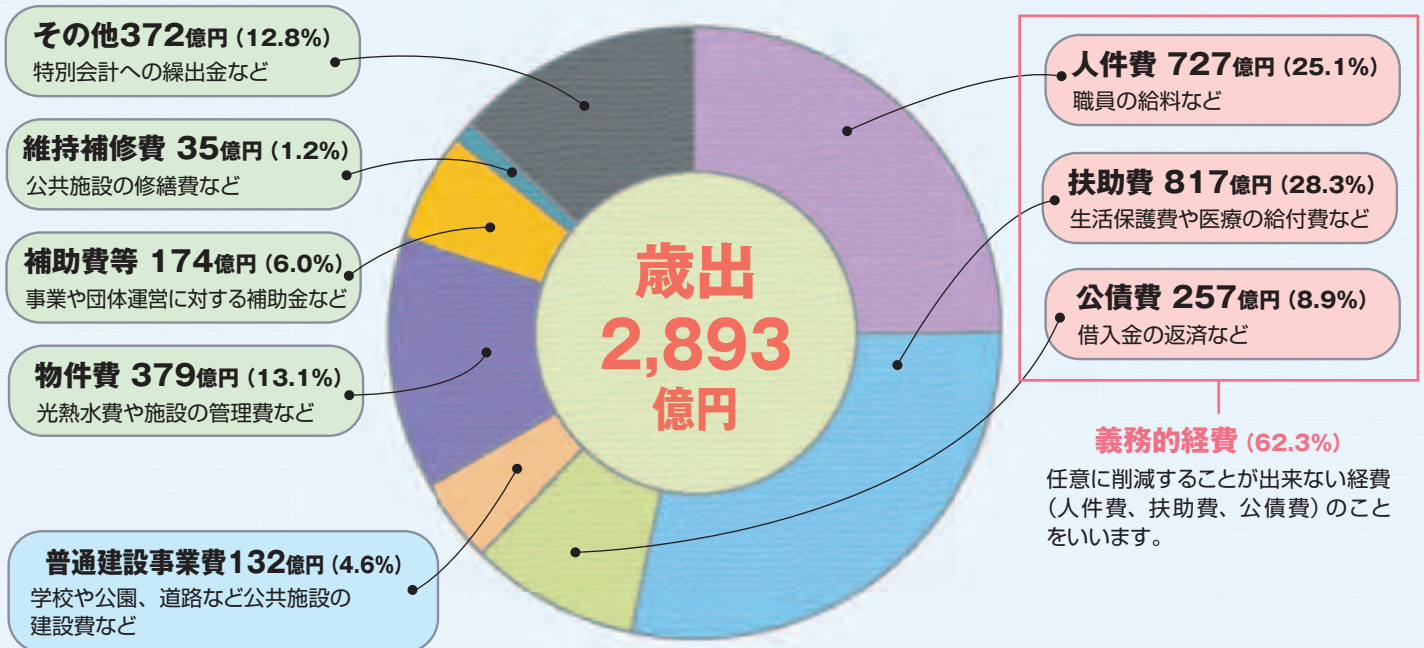
歳出をサービスの目的で分類したもので、「民生費」、「衛生費」、「教育費」などに分けられます。市民一人あたりの予算額は約40万円で、このうち「民生費」が約17万円となっており、全体の約42%を占めています。

目的別経費	当初予算額 (百万円)	一人あたりの 予算額(円)※	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	995	1,380	0.3
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	25,315	35,112	8.8
民生費 (子育て支援や高齢者・障害者福祉、医療などに要する経費)	122,374	169,731	42.3
衛生費 (健康づくりの推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	21,734	30,144	7.5
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	708	982	0.2
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	713	989	0.3
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	14,241	19,752	4.9
土木費 (道路、下水、公園、河川などに要する経費)	26,076	36,167	9.0
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	7,657	10,620	2.7
教育費 (学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに要する経費)	43,389	60,180	15.0
公債費 (借金の返済などに要する経費)	25,829	35,825	8.9
その他	269	374	0.1
合 計	289,300	401,256	100.0

※一人あたりの予算額(円)は、平成29年4月1日現在の推計人口から算出しています。

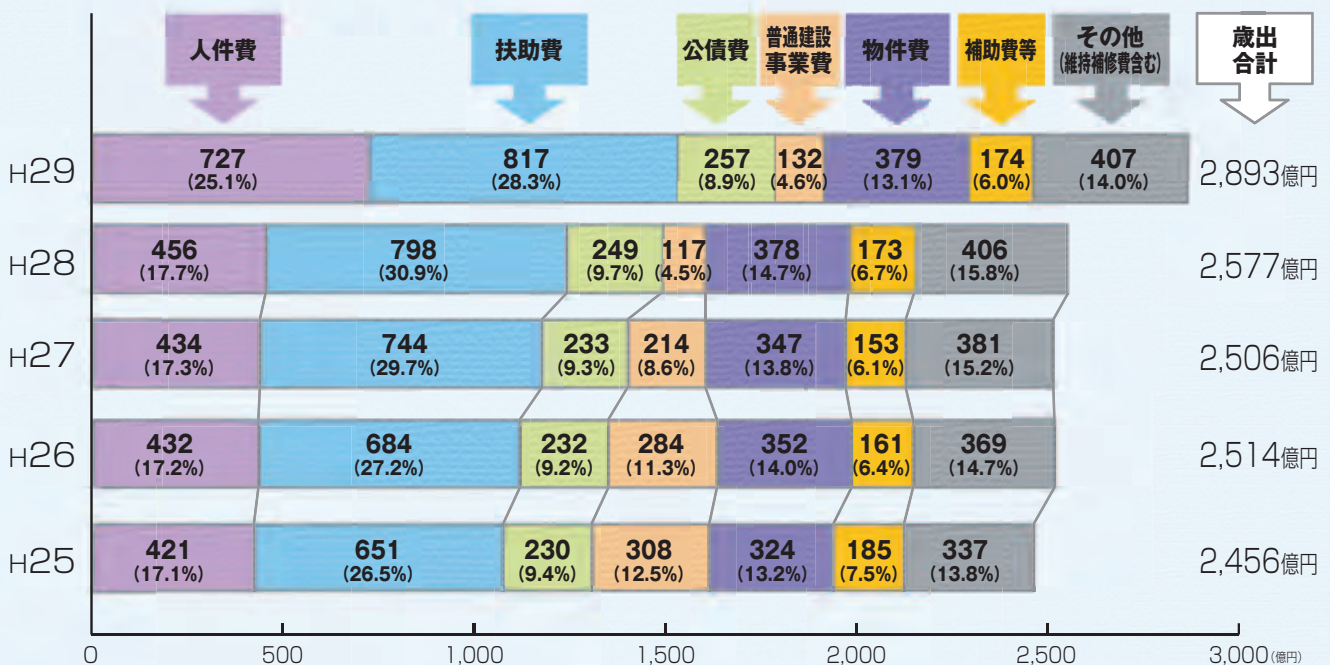
『性質別』経費とは…

歳出を経費の性質に着目して分類したもので、「人件費（人にかかる経費）」「普通建設事業費（建物など将来への投資となる経費）」などに分けられます。



性質別経費の比較

※単位は億円。()内は歳出合計に占める構成比。
※平成25～27年度は決算額、28・29年度は当初予算額で示しています。



性質別経費では、扶助費が年々増加しており平成25年度と比べると166億円増加しています。その一方で、普通建設事業費はこれまで減少傾向にあり、平成25年度と比べると176億円減少しています。

なお、平成29年度は、市立小・中学校教職員の給与支給事務が県から移譲されたことにより、人件費が増加となっています。

この権限移譲に伴い、個人住民税所得割2%の税源も移譲されます。(平成29年度は、税源移譲相当額が県税交付金として交付されます。)

平成29年度の 主な取り組み

平成29年度の当初予算は、「共に支え合う地域社会の実現」「未来へ向かい輝き続けるまちづくり」「豊かさを次代へつなぐ都市経営」の3点を市政運営の重要な視点として位置付け、予算編成を行いました。★印は新規事業

全ての市民が安全で安心して、心豊かに暮らせるまちづくり

障害者が安全で安心して暮らせる共生社会の実現

1,755万円

- ★障害者への理解の促進
- ★視覚障害者情報センターの設置・運営
- 相模原市第5期障害福祉計画等の策定

人権尊重思想の普及高揚

861万円

- 人権啓発の推進

高齢者福祉の充実

17億 334万円

- 介護予防・日常生活支援総合事業の充実
- 在宅医療・介護連携の推進
- 介護人材の確保・定着、育成
- 第7期相模原市高齢者保健福祉計画の策定



消防・救急体制の充実

2億4,812万円

- 消防署所の整備
- 救急業務の高度化の推進

防災力の向上

83億7,907万円

- 地域防災力の向上
- 都市防災力向上に向けた取組



暮らしにおける安全・安心の確保

2億5,893万円

- 地域の安全・安心の確保
- 消費者教育の充実

生活困窮者・生活保護受給者の自立支援

4億1,757万円

- 生活困窮者・生活保護受給者の自立に向けた支援

医療体制の充実

1億 920万円

- 総合診療医の育成・確保に向けた支援

安全で災害に強い都市基盤の整備

22億5,189万円

- 土木施設の予防保全的な維持管理（公営企業会計も含む）
- 浸水対策の推進

基地対策

947万円

- 基地返還や航空機騒音の解消等に向けた取組

次代を担う子どもの健やかな成長と豊かな心を育む環境づくり

子どもを生き育てやすい環境づくり

49億9,377万円

- ★子育て支援センターの運営
- 小児医療費の助成
- 妊婦健康診査費の助成
- 保育所待機児童対策の推進
- 放課後子ども総合プランの推進
- ★児童相談所への弁護士配置

学校教育・教育環境の充実

10億9,881万円

- 学校教育の充実
- 学校教育環境の整備
- ★学校施設長寿命化計画の策定に向けた取組

子どもの豊かな心を育む環境づくり

3億 122万円

- 青少年・教育相談事業
- 子どもの権利の侵害に関する相談、救済などの取組

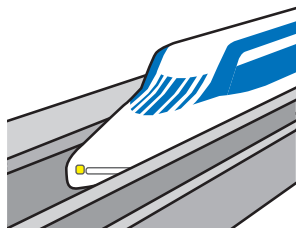


にぎわいと活力に満ち、多様な交流が生まれる都市づくり

広域交流拠点の形成

5億1,652万円

- 橋本駅周辺整備に向けた取組
- リニア中央新幹線の建設促進
- 相模原駅周辺整備に向けた取組
- JR横浜線連続立体交差化に向けた取組



圏央道インターチェンジ周辺における拠点の形成

31億 881万円

- 相模原インターチェンジ周辺新拠点まちづくりに向けた取組
- 当麻地区整備促進事業の推進
- 麻溝台・新磯野地区整備事業の推進（特別会計）

交通ネットワークの充実

39億2,009万円

- 小田急多摩線の延伸に向けた取組
- 幹線快速バスシステムの導入に向けた取組
- 圏央道インターチェンジアクセス道路の整備に向けた取組

地域産業の活性化

133億2,026万円

- 産業基盤の強化
- 中小企業の支援
- 商業・サービス業の振興
- 都市農業の振興
- 雇用対策の推進



環境を守り、自然と共生する社会づくり

地球温暖化対策

5,286万円

- 燃料電池自動車等の普及促進
- 住宅のスマート化の促進
- 中小規模事業者に対する省エネルギー対策の推進



資源循環型社会の形成

1,508万円

- ★北清掃工場基幹的設備等改良事業（平成29年～32年度継続事業）
- リサイクルスクエアの運営

自然環境の保全

4,498万円

- 森林環境の保全と林業の育成
- 生物多様性の保全に関する取組



地域の個性が光り、市民が主役のふるさとづくり

市民が主役のまちづくり

5億6,231万円

- 区制を生かしたまちづくりの推進
- 地域の拠点施設の計画的な整備

スポーツ・文化の振興

5,004万円

- ホームタウンチーム等との連携、支援
- スポーツ・レクリエーションゾーン（相模総合補給廠共同使用区域内）の整備に向けた取組
- 美術館整備に向けた取組



本市の魅力の向上とシティセールス

2,800万円

- シティセールスの推進
- 2020東京五輪・さがみはらプロジェクトの推進
- ★広域観光周遊ルートの形成に向けた取組



相模原市財政状況

相模原市の財政の現状や課題について説明します。

Q.市の財政状況は?

健全化判断比率

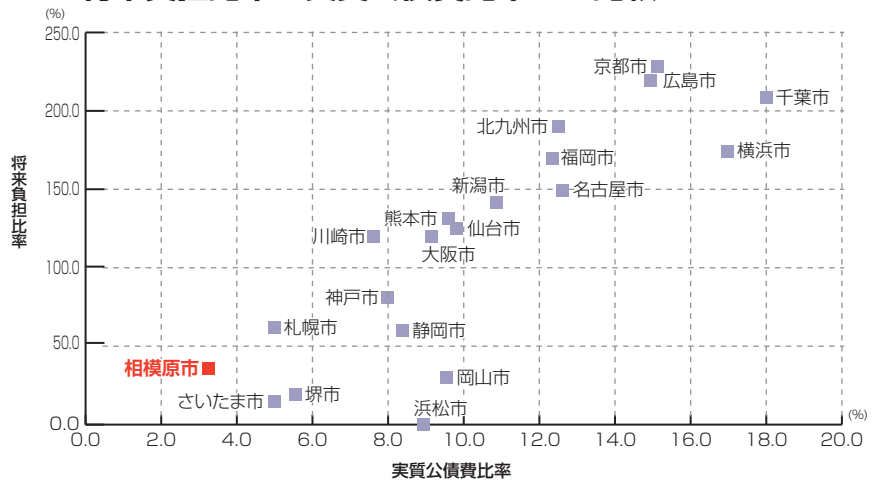
健全化判断比率のうち将来負担比率は、借金や買取りを約束している土地代など既に将来支払うことが決まっている金額などを含めた事実上の総負債額が1年間の収入総額に対しどのくらいの割合かを示したもので、数字が小さいほど、将来の負担が少ないということです。国の基準で一定以上（将来負担比率が400%以上）になった場合は借金削減の計画をたてなければなりません。

実質公債費比率は、収入に対する公債費（借金の返済費用）の占める割合で、数字が小さいほど、借金が少ないということで、一定基準（25%以上）を上回ると市債の発行が制限されます。

相模原市は、政令指定都市の中で、実質公債費比率3.2%は最小、将来負担比率37.9%は5番目に小さく、健全財政を維持しているといえます。



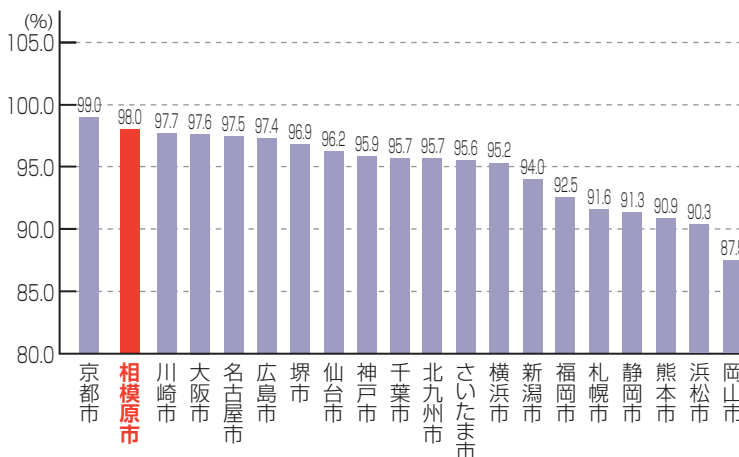
将来負担比率と実質公債費比率との比較（平成27年度決算）



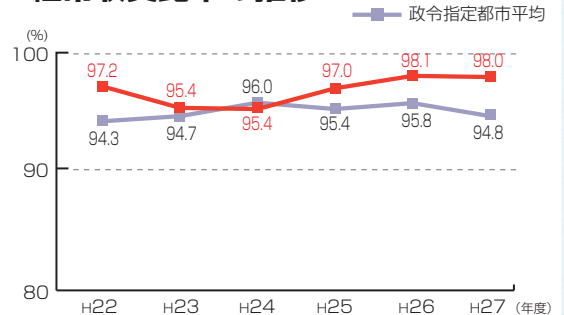
経常収支比率

経常収支比率は、市税など常に見込める収入と、公債費など常に支払う必要がある支出を比べたもので、この割合が低ければ、それだけ新しい仕事にお金を振り向けることができます。

経常収支比率の比較（平成27年度決算）



経常収支比率の推移



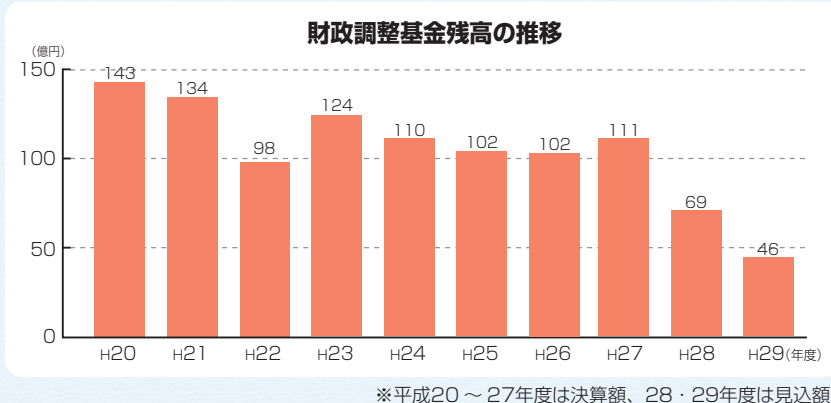
相模原市は、平成27年度は政令指定都市の中でも比率が高く、近年の傾向としては「財政の硬直化」が進んでいるといえます。硬直化が進むと新しい仕事を我慢する必要がでてきたり、急にお金が必要となった場合に対応しづらくなったりします。

Q.市の貯金や借金はどうなっているの？

財政調整基金 (市の貯金)

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応できるように、市でも貯金をしています。これを財政調整基金と呼んでいます。

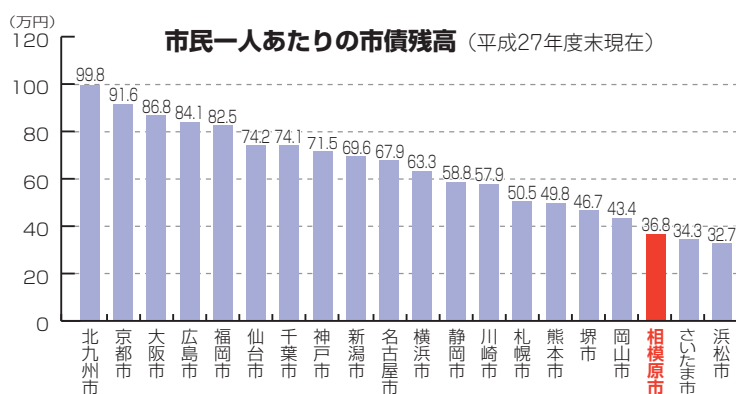
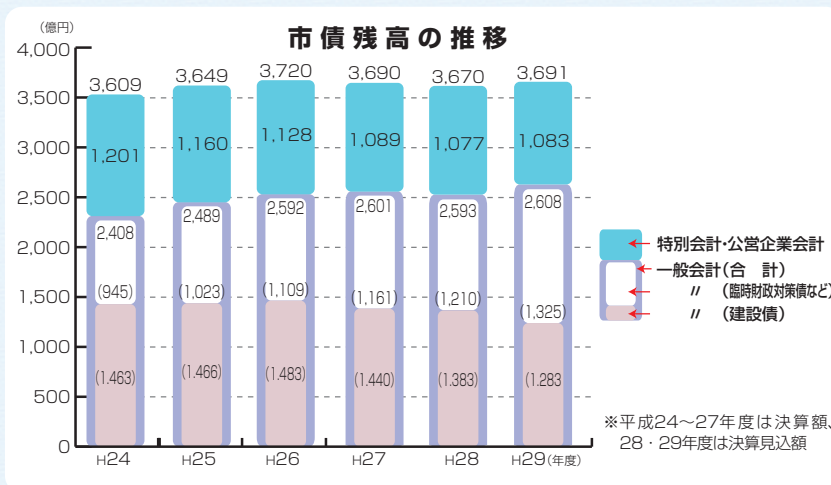
前年度に支出を切りつめて余裕が出たお金の半分以上を積み立てることをルールとして、積み立てを行っています。



市債 (市の借金)

市債は借金ですから、無いほうが良いと考えるのがあたりまえです。でも、公園や道路などの整備に必要なお金を1年間の予算でまかなってしまったら、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。それに公園や道路はこれから長い間、たくさんの方が利用する施設ですから、将来の市民の方にも平等に費用を負担していただくことも、市債を発行する理由の1つです。

また、国の財源不足で本来地方交付税として配られるお金が不足した分を、市が代わりに借金をしてまかっています。この借金を臨時財政対策債といい、近年市債残高が増加している大きな要因となっています。臨時財政対策債の返済金については、後年度の地方交付税額の算定に全額が反映されることになっています。



平成27年度の市民一人あたりの市債の残高を他の政令指定都市と比較すると相模原市は3番目に低くなっています。

今後も健全財政を維持するため、借入額に関する自主的なルールを作り、適切な市債発行に努めています。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計決算の数値から作成しています。

健全財政に向けた 主な取り組み

相模原市では現在の健全な財政を
将来にわたり維持するため、
いろいろな取り組みを進めています。

相模原市は、現時点では財政的に健全といえる状態ですが、市債残高や財政調整基金の状況を見ると、将来への課題がないわけではありません。

そこで、将来にわたっても引き続き健全な財政を維持するために、市ではさまざまな取り組みを進めています。



行財政改革の断行

継続的かつ効果的に市の施策を推進するため、平成29年2月に「第2次さがみはら都市経営指針」とこの指針の取り組みの方向性を具体化するための「実行計画」を策定し、積極的な歳入確保や徹底した事務事業の精査や効率化など、行財政改革に取り組んでいます。

平成29年度予算では、ネーミングライツ制度の実施や有料広告の掲載などによる歳入確保や、特定規模電気事業者からの電力購入による歳出抑制などの取り組みを引き続き行っています。

市債発行の上限設定（借入のできる上限額の自主規制）

市の借金には、実質公債費比率や将来負担比率など国の基準でいろいろな規制がありますが、いずれも返済額や残高に関するもので、借入額を直接規制するものではありません。そこで相模原市では借入額に関する自主的なルールを作って健全財政の維持に努めています。

年度	目標	実績	達成状況
平成17～21年度	借入総額 800億円以内	798億円	達成
平成22年度	借入限度額 320億円 実質公債費比率 8%以下	278億円 4.3%	達成
平成23～25年度	3年間の市債発行額 1,000億円以内 実質公債費比率 8%以下	993億円 3.9%	達成
平成26～28年度	3年間の市債発行額 950億円以内 実質公債費比率 8%以下	520億円 3.2% (平成26～27年度)	
平成29～31年度	3年間の市債発行額 300億円以内 (ただし臨時財政対策債を除く)		

収入未済額の削減に向けた取り組み

市では、納期限を超過しても納付されない債権について、市民の負担の公平性と自主財源の確保を目的とした「第2次相模原市債権回収対策基本方針」に基づき、財産の差押、公売の実施などに重点的に取り組みます。

「宝くじ」って実はすごい!!

宝くじ
情報

Q. 宝くじってどこで買っても同じ?

A. 宝くじが当たる確率は、どの売場で買っても同じだよ。でも、相模原市内で売れた宝くじの収益金は、相模原市に配分され、身近な市内の事業に役立てられているんだ。
だから、みんなが**市内で宝くじを買って**くれると、相模原市の収益金も増えるから、**みんないいことづくめなんだ!**



市内で買えば、
市民のために
役立てられるんだ!!

平成28年度は
年末ジャンボプチャ
スクラッチ宝くじ等で
1等が市内の売り場から
でているんだよー。



宝くじは
相模原市内で
買って
くださいね。

寄附で、あなたも**市政**に参加してみませんか! 「暮らし潤いさがみはら寄附金」のご案内

ポイント1 寄附金は、あなたが指定した事業に活用されます!

市の事業のうち幅広いメニューから使い道を選択いただけます。
使い道を指定しない「一般コース」も選択できます。

ポイント2 寄附金は、税金から控除されます!

2,000円を超える部分は税金が差引かれます!(上限額があります)
つまり、税金の使い道を指定するのと同様の効果があります。

ポイント3 「ふるさと納税ワンストップ特例制度」がご利用いただけます!

ふるさと納税による税の軽減を受けるためには確定申告を行っていただくことが必要ですが、寄附をする方が寄附先の自治体へ所定の様式による「申告特例申請書」の提出を行うことで、確定申告を行わなくても個人住民税の控除を受けることができる制度です。

※ワンストップ特例の対象者はふるさと納税の寄附金控除を受ける目的以外で所得税や住民税の申告を行う必要がない方で、その年にふるさと納税をする自治体の数が5以下であると見込まれる方となります。

【平成28年度 暮らし潤いさがみはら寄附金の実績】

寄附金合計
121,964,620円

多大なるご寄附ありがとうございます。皆さまからお預かりした寄附金は、原則ご寄附いただいた年度の翌年度の予算の中で活用させていただきます。

詳しくは市ホームページ、パンフレットをご覧ください。市財務課まで。

相模原家の 家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家の年収を500万円として、市の予算を当てはめてみると…

～相模原市の平成29年度予算を年収500万円の家計に例えると～



収入

給料	基本給 (市税)	196万円 (△25万円)
	諸手当 (地方交付税・国県支出金など)	201万円 (+24万円)
	貯金の取り崩し (基金繰入金)	12万円 (△6万円)
	家賃収入 (使用料・手数料など)	48万円 (△5万円)
	生活資金のローン (臨時財政対策債)	34万円 (+11万円)
	家の増改築のローン (建設債など)	9万円 (+1万円)
	合計	500万円

(カッコ内は前年度との比較)

支出

食費 (人件費)	126万円 (+38万円)
医療費 (扶助費)	141万円 (△14万円)
ローンの返済 (公債費)	44万円 (△4万円)
その他生活費 (物件費など)	124万円 (△16万円)
家の増改築 (普通建設事業費)	23万円 (±0万円)
子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	42万円 (△4万円)
合計	500万円

(カッコ内は前年度との比較)

*このほか、ローンの残高は506万円。
貯金は18万円になります。

収入については、諸手当が増えたものの依然として生活に十分な額には満たないため、貯金を取り崩したりローンを借りたりしています。

支出では、家族が増えた(市立小・中学校教職員の給与支給事務が県から移譲されたことにより)ため食費が増えていますが、その分は新たな諸手当などで全てが賄われています。

また、相模原家のローン残高は506万円、貯金が18万円となっています。

こと はじめ

～『予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者(オランダ語で西洋の学問を学ぶ者)の苦労が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか?

「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」などという言葉もしばしば耳にされると思いますが、自分の暮らすまちの財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいて、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。



相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>

【トップページ】⇒【市政情報】⇒【市の財政】からアクセスしてください。



お買い物は地元のお店で!!

一般社団法人

相模原市商店連合会

相模原市中央区中央3-12-3 ☎042-768-2451

相模原事務用品協同組合

相模原事務用品協同組合 代表理事
吉野 賢治

事務局 ▶

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3(商工会館内)
TEL 042(750)2838 FAX 042(750)2855

URL:<http://www.e-jimu.jp> e-mail:kumiai@e-jimu.jp

(有) オオヌマ 042-778-4290
菊屋浦上商事(株) 042-754-9211
(有) 橋南堂 042-772-2408
久米文具店 042-754-6560
昭文堂 042-762-1532
(株) 敏正堂 042-685-1511
福文堂 042-784-0136

(株) 文盛堂 042-752-2303
(株) 宝月堂文具店 042-752-2083
(株) ミリオン事務機器 042-784-3856
(有) 山本書店 042-784-0016
(株) 洋文堂 042-730-3421
(有) 渡邊文相堂 042-761-5518
(株) プロワーク 042-730-5251

新築・お子様の勉強部屋・リフォームのご相談は



有限会社

トータルハウジング久野

神奈川県相模原市中央区水郷田名2丁目11番26号
TEL 042(762)0096 FAX 042(760)0078
<http://www.t-h-kuno.co.jp>



SOIN

相模原市印刷広告協同組合

プロ集団
24社

印刷・広告受注、地域情報紙印刷配布、
市民まつりパンフレット・暮らしのガイド(ナイスガイドさがみはら)作成
街美化アダプト制度の活動、PTA・公民館広報誌講習会(年1回開催)等

相模原市印刷広告協同組合代表理事 長田 功

〒252-0239 相模原市中央区中央3-7-5 ☎042(776)6100 ☎042(776)5656 <http://www.soin.or.jp/>



Bank of Yokohama

Afresh

あなたに、あたらしく。

お客さま一人ひとりに、
最もふさわしい金融サービスとの出会いを、
あたらしく創りあげていきます。

横浜銀行

八千代銀行

相模原法人営業部／淵野辺支店／相模原支店／南淵野辺支店
上溝支店／田名支店／千代田出張所／相模台支店／相模大野支店／大沼支店
東林間支店／古淵支店／橋本支店／二本松支店／城山支店



思いを預かる。思いをつなぐ。

東京TYフィナンシャルグループ